

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800291		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホームおおきな家 東館		
所在地	夕張郡長沼町西町1丁目4-6		
自己評価作成日	平成28年3月7日	評価結果市町村受理日	平成28年4月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&JigyosyoCd=0175800291-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成28年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様の人格を尊重し、ご利用者様の思いにできるかぎり対応していきます。 他のご利用者様、皆さまと一緒にレクリエーションに参加したり、長沼町の四季にあわせた季節の行事に参加されながら楽しく可能な限り、いつまでも、自立した生活が出来ますよう支援していきます。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームおおきな家」は、田園風景が広がる自然環境豊かな長沼町にある2ユニットの事業所である。屋内は、居間から見えない場所にトイレや洗面所、浴室が配置されておりプライバシーに配慮した回廊式の造りになっている。大きな窓から明るい日差しが入る広々とした居間と食堂は、各利用者が好きな場所でゆっくり寛げるように家庭的な環境作りを行っている。事業所の夏祭りに近隣住民が手伝いに訪れたり、神社のお祭りでは子供神輿の休憩所として事業所の敷地やトイレを提供するなど地域に根差した事業所として前向きに取り組んでいる。向かい側にある「西町なかよし公園」で、利用者と一緒に花壇づくりなどを楽しみながら近隣住民と交流する機会もある。外出にも積極的に取り組み、冬季以外は車椅子を使用している利用者も毎日のように玄関先に出たり、「西町なかよし公園」や「しらかば公園」まで散歩している。季節に応じて、栗山公園の桜や夕張の紅葉見学などにも車で出かけている。管理者と副管理者を中心に、全職員で一人ひとりの利用者がゆったりとありのままに、喜びのある生活が送れるように理念に沿った温かな支援を行っている。利用者は明るい顔で穏やかに過ごしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆったりと楽しく、自由にありのままに暮らしの喜びと自信をみんなと共に」の理念を職員間で共有し実践するよう日々、努力しています。	管理者が申し送り時に理念の確認を促したり、外部評価の機会に職員間で再確認している。具体的なケアに沿って検討しながら、各利用者が理念に沿った生活が送れるように支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の「花いっぱい運動」や「清掃活動」に利用者様と職員と一緒に、積極的に一緒に参加し交流を深めています。	利用者と一緒に、向かい側の「西町なかよし公園」の花壇に花を植えたり手入れをしている。事業所の夏祭りに近隣住民が手伝いに訪れたり、神社の子供神輿の休憩所として事業所の敷地やトイレを提供している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の外部研修会、法人内での研修会等に職員は参加し知識を深め、地域や、また身近な方々に少しでも啓発するよう日々努力しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて、現状報告を行い、ご家族様や地域の方の意見交換を通して貴重な意見を頂き、サービス向上に努めています。	全家族に会議案内とテーマに関する資料を送付し、口腔ケアや高齢者虐待防止などについて取り上げている。役場職員から介護用ロボット購入の助成金などについて情報を貰っている。議事録の送付は行われていない。	参加できない家族にも会議内容が分かるように議事録を充実させ、全家族に送付するよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は、役場が主催するサービス調整会議に参加し町内の福祉関係者等との情報交換を行い協力関係を構築できるよう努力しています。	管理者は、役場に生活保護受給者の医療券を貰いに行っている。空知振興局におむつ補助の相談をしたり、生活保護受給者の介護計画を提出している。役場主催の研修に参加することもある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は、身体拘束をしないケアを日々実践しています。法人内の研修会に参加し学びも深めています。玄関、内ドアも施錠しておりません。	「禁止の対象となる具体的な行為」を記載した身体拘束廃止マニュアルを整備している。資料に沿って勉強会を実施し、禁止行為について再確認している。利用者の行動を制止したり命令的な言葉遣いをしないように指導している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は、虐待防止についての研修会に参加、共通の理解と認識を深め、日々実践し虐待防止に努めています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	「権利擁護」「成年後見制度」に関して日々学習するよう努めています。また、それらを活用した支援は現在までありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、ご利用者様、ご家族様に十分に説明、丁寧に分かりやすく説明するよう心がけています。分からない部分は、何度でも時間をかけて説明しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様が気軽にご意見ご要望を言ってもらえるように信頼関係を築く努力をしています。また、ご家族皆様が気軽に来訪して頂けるよう心がけています。ご家族様に頂いた意見、要望は法人本部と相談できる体制もあります。	家族の来訪時に利用者の様子を伝えながら相談したり、要望を聴き取るようにしている。家族からの要望などは口頭で伝えたり、連絡ノートに記載することもある。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人本部は定期的に職員とのミーティングの機会を設けています。意見や提案を聞く機会を設けています。	法人事業所合同の管理者会議を、年2回程実施している。管理者は、週1回の本部に出かける機会を利用して職員の意見や提案を運営者に伝えている。利用者の意向を汲み取り、職員からの提案で畑の整備について運営者に相談している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人本部は個々の職員の能力や努力、実績や勤務状況等を把握し職員が向上心を持てるよう配慮している。また、定期的にパークゴルフ大会、小旅行、食事会等なども行われ、福利厚生にも努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で、研修等を無理のない範囲で開催しています。その日、参加できなかった職員には別の日に参加できるようしています。どうしても参加できなかった職員には、資料を配布し個々で学べるよう配慮しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	各地にて開催される同業職種との勉強会や交流会に参加し、他事業所とネットワーク作りや、サービス向上に取り組む機会となっています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様安心して暮らしていただけるよう、困っていること不安に思っていることに、日々、耳を傾けながらより良い関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が不安に思われていることや困っていることを遠慮なく相談して頂けるよう努め、職員も、日々のご家族様の言葉に耳を傾け信頼関係を築けるよう努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様の思いや必要とされるニーズや思いを確認して、必要とされる支援を検討し、より良いサービスを提供できるよう努力しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は常に、ご利用者様と同じ目線にて対応し、日々の生活をお互いに協力しあい本当の家族に少しでも近づけ暮らしていけるような関係作りをしています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様は、日々の状況をお手紙、電話連絡、来訪時にお知らせし、意見や相談を受け、ご利用者様と一緒に支えていくことができるよう努力しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居される時、ご本人様の使用されている身近なものを持参していただいたり、馴染みの美容室や薬局等の送迎や、知人の方々の来訪して頂、継続的な交流が続けられるよう支援しています。	近所に住んでいた知人が来訪したり、友人が毎週訪ねて来て利用者の髪をセットしたり、買い物や外食、受診などに出かけることもある。職員が美容室に送迎したり、家族と一緒に寺院や外食に出かけている。自宅に帰る利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係作りのため、毎日、午前、午後、茶話会を開催しています。職員も参加し、ひとりひとり楽しい会話を持てるよう心かけています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者様が入院された場合、馴染みの関係が壊れないように病院へ会いに行くように努め、ご家族様とも連携しフォローしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の日々の会話の中から希望や意向の把握に努め、ご本人様に寄り添った支援をするように心がけています。困難な場合、ご家族様にお話を聴きしご本人様に寄り添う支援を心がけています。	会話から把握が難しい時は、利用者との関わりの経験から洞察したり、表情や仕草から希望や意向を汲み取っている。利用開始時に生活歴などを聴き取っているが、現状の本人の思いや意向が分かるような記録は行われていない。	本人の思いや意向が把握できるような書類を整備し、随時変化を追記するよう期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様、ご家族様、担当ケアマネに、生活の状況や生活環境等の情報をお聴し、また、その方の住まれていた地域に出向いたりして把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	担当ケアマネからの情報や、ご本人様の発言などにより日々の生活での関りにて生活リズムの把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様、ご家族様の意向をお聴きし取り入れ、アセスメント、モニタリングを基に、定期的に話し合いを行い、現状に即した介護計画を作成しています。	普段から職員の意見や家族の意向を聴き取り、計画作成担当者がモニタリングシートを作成して3ヵ月毎に介護計画を作成している。介護計画は家族と本人にも説明している。現状に即したモニタリングは行われていない。	介護計画の書式を統一するよう期待したい。アセスメントに基づいて、職員も参加してモニタリングを行うよう期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルにて、日々の記録をし、職員間で状況を共有しケアの実践に反映しています。また、介護計画の見直しにも活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様、ご家族様の色々なニーズに、個別に、柔軟に対応できるよう努力しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事に職員と一緒に参加し地域との関りを深めています。また、地域の中で楽しく、安全で豊かに生活できるよう努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みのかかりつけ病院に定期受診の支援を行っています。職員も付き添い主治医との関係を大切にしています。また、訪問診療にも対応しています。	職員が殆ど受診支援を行い、主治医に健康状態を伝えている。受診後は電話で家族に結果を報告している。受診と往診の状況は「受診経過記録」に記載して個別に綴じている。	

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員が配置され、ご利用者様の健康管理や状況の変化に応じた支援が、個々のニーズに対応できる体制が整っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、常に、ご利用者様、ご家族様と情報連絡を行っています。医療機関とも連携を図り、早期退院できるよう努めています。また、職員はお見舞いに伺い相談対応するように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に関しては、ご本人様、ご家族様の希望があれば対応するよう努めています。	利用開始時に「重度化対応・終末期ケア対応指針」に沿って説明して同意書を貰っている。体調変化に応じて事業所として可能な対応について説明し、家族の意向に沿って看取りも行っている。今まで1名の看取りを実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防職員の指導にて、定期的に避難訓練、消化訓練に参加に参加しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会、地域住民の方々も避難訓練等に参加して頂いています。町内会の総会時に、会長様に協力願いをしています。	消防署の協力の下、昼夜の火災を想定した避難訓練を年2回実施している。AEDや心肺蘇生法の外部研修に職員が参加している。代表者が地域役員などに訓練への参加を依頼しているが、まだ協力は得られていない。	地域住民に継続して協力を依頼し、避難訓練に参加が得られるよう期待したい。地震についても避難できる方法を検討できるよう期待したい。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の尊厳や人格を大切に、プライバシーにも配慮し、優しい丁寧な言葉かけに努めています。ご本人様の誇り損ね無いよう努力しています。	年2回接遇に関する研修を受講している。子ども扱いするような言葉、禁止するような言葉には注意している。申し送りは、事務所で行い周りに聞こえないよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様、個々合った言葉かけに努め、ご本人様が、思いや希望を述べ、自己決定できるよう職員も努力しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様のペースを大切に生活できるよう、柔軟に対応し支援に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時、入浴時等に洋服と一緒に選び好みを聴きながら自己決定できるように支援しています。3ヶ月に1回程度、法人の理容師が訪問し髪を整うこともできます。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様の好みを把握したり、食材の下ごしらえの準備をお願いし職員と一緒に頂いたり、食器拭き等の色々な協力をしています。また、簡単なカレーライスなどの調理にも参加して頂きました。	理事長が献立を作り、職員が買い物に出かけている。寿司職人が来て目の前で寿司を握ってもらうこともある。回転寿司や蕎麦屋、和食レストランなどに個別に出かけ食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の個々のチェック表にて水分量、食事量を把握し記録して習慣に応じた支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後、口腔ケアを行っています。声かけ、介助行いケアしています。また、終寝時は、入れ歯の洗浄を毎日行います。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排尿表にて排尿パターンを把握しトイレ誘導を行う支援をしています。個別に声かけ、誘導介助を行っています。	利用者全員の「生活シート」に水分摂取量と排尿、排便回数を記録している。それに基づき時間帯を把握しトイレでの排泄を介助している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便パターンを把握し時間にてトイレ誘導おこないます。個々に下剤使用されている方々もいます。毎朝牛乳や、乳製品を多くとれるよう工夫しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	原則として平日が、入浴日ですがおおよそ個々に応じて土曜日、日曜日にも柔軟に対応しています。時々、入浴剤を使用し気分転換をはかる機会を行います。	入浴を嫌う場合は、毎日言葉かけをし、時間帯や順番にこだわらず入りたい気持ちになった時に入浴をしている。週に2～3回入ることもあり、同性介助を希望する利用者には、同性の職員が介助している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のお部屋にて自由テレビを楽しんだり、に休んだり、お昼寝されたりと、状況に応じ柔軟に対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬のファイルを個々に用意して、職員が薬の内容を確認できるようにしています。用法容量を適切に対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日、個々の体調に合わせ、庭仕事、食事の後かたずきや、掃除機のかけなどの役割に参加して頂いています。毎月のホームの行事に参加して頂き楽しんで頂いています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は、毎日散歩に出かけたり、近くの公園や東屋にて外気浴をします。さくら見学、もみじ見学などのドライブにも出かけられるよう支援しています。近くの自動販売機やコンビニに買い物にも出かけています。	天気の良い時は、毎日のように散歩に出かけている。事業所の正面にある「西町なかよし公園」や「しらかば公園」に車いすを押しながら500mほど歩いている。車を使って栗山公園の桜、夕張の紅葉、近くの畑に飛来する白鳥などを見に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員が必要に応じて支援しますが、ご本人様で管理できるかたもおられます。ご自分の欲し物などを買うことができるよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様がご家族様、お友達の方々に自由に電話等できるような雰囲気作りや声かけを行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が、ゆたりと居心地良く過ごせるよう、雰囲気作りし、また、騒がしくなく落ち着いた空間作りを心掛けています。	回廊式の造りとなっており、居間からは見えない場所にトイレ、洗面所、浴室が配置されている。対面式の台所から食堂と居間が見渡せ、窓からの日差しが入る明るい空間となっている。テレビの周りに複数のソファを配置し、ゆったりと過ごせる環境づくりをしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様が自由に過ごして頂けるよ、雰囲気づくりを心がけ、また、ご自分の空間が持てるよう、ご本人様用の座布団、クッションを使用され居場所作りにの道具にしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様の馴染み品物を持ってきて頂き、ご自宅の雰囲気を作り出すようご家族様と相談し居心地が良く過ごせるよう環境づくりに配慮しています。	事業所で備えているのは、ベッド、筆筒、カーテン、コートハンガーなどである。家族が仏壇やテレビ、ソファ、観葉植物、ぬいぐるみなどの本人の馴染みの物を用意している。壁に書道の作品を飾ったり、カレンダーをかけている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はバリアフリーになっていますので、個々の残存機能を活用し、いつまでも、安心した自立生活がお送れるよう支援でしています。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800291		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホームおおきな家 西館		
所在地	夕張郡長沼町西町1丁目4-6		
自己評価作成日	平成28年3月7日	評価結果市町村受理日	平成28年4月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&JigyoSyCd=0175800291-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成28年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節の行事や散歩等に参加し、地域住民との交流を少しでも多くもてるように、また、家庭的な雰囲気での生活を楽しんで いただけるような支援に努めています。 ご利用者様ひとりひとりの個性や思いを尊重し支援させていただいております。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	[ゆったりと楽しく自由にありのままに暮らしの喜びと自信をみんなと共に]の理念に基づき日々努力して実践するよう心かけています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の「花いっぱい運動」や「草取り作業」に利用者様と一緒に参加しています。又夏祭り等にも地域の方に参加頂き交流を深めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	職員は、認知症の研修会にも参加し知識を深め支援の方法や地域の方に少しでも理解頂けるよう啓発に努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にてご家族様や地域の方との意見交換を多く持ち、出された意見をサービスの向上に繋げる様努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	協力関係を築くように努めています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は、身体拘束の具体的な行為について学び、また職員間で情報を共有し、お互いにサポートし合えるよう協力し、身体拘束のないケアを実践しています。また、玄関の施錠をしていません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は虐待防止について勉強をして理解を深め、虐待のないケアを常に実践し、利用者様の身体状況の報告も行っています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	介護支援専門員での研修会で学んだ事を職員間で学習するよう努めています。 又現在まで活用した支援は有りません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、ご利用者様、ご家族様に時間をかけ丁寧に説明をし、疑問点も解りやすく納得が得られるよう説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が気軽に意見、要望をいって頂けるよう、信頼関係を築くように努めています。頂いた意見は法人本部と相談できる体制も有ります。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人本部は職員個々の意見や提案を聞く機会を設けています。又それらを業務に反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、直接的、間接的に就業の状況について把握につとめており、福利厚生にも力を入れています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	業務に無理のない程度で内部研修、外部研修に参加できるよう配慮しています。参加できなかった職員には資料を配布しています。学んだ知識は実践で行かせるよう勧めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との合同研修会や交流会でネットワークの機会を作り、意見交換をしサービスの向上に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様の、不安に思う事や困っている事に耳を傾け要望を聴き安心出来る関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が困っていることや不安に思う事に耳を傾け要望を聴き、より良い信頼関係を築けるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様やご本人様の思いや要望を聴き、何が必要かを考え話し合い、ニーズに即した支援が出来るように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様一人ひとりを一人の人格として尊重し、協力し合える家族のような関係を築けるよう努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に生活状況を月1回のお手紙での報告や電話連絡、来訪時に報告、相談をしながら利用者様を、一緒に支えていける関係を築けるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者さまの、馴染みの知人様が何時でも来訪して頂けるような雰囲気作りに努め交流が継続できるよう支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係つくりのために、それぞれの個性や生活習慣を把握し、利用者様同士が支え合い孤立しないよう職員が仲立ちをして良好な関係が作れるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者様が入院された場合、なじみの関係が崩れないよう病院へいき会って状況を聞き、相談や支援をするように努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中でご利用者様の希望や意向の把握に努め本人様の思いを汲み取った支援をするよう心掛けています。困難な場合は本人本位の支援に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様のご家族や担当のケアマネージャー様に生活環境や生活歴等の情報をお聞きし、把握するように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で生活習慣や身体状況の現状把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様本、ご家族の意向をお聞きし、定期的に話し合いを行い、アセスメント、モニタリングを基に利用者様の現状に即した、介護計画を作成しています。又個人記録はご利用者様の様子や計画の実施について記録し短期目標に番号を振り全職員がチェックできるようにしています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し、職員間で共有しケアの実践に繋げています。また介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様やご家族様の状況に応じて発生するニーズに対してその場に即した柔軟な対応が出来る様に努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事に参加し地域との関わり持ち、豊かで楽しく生活できるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族様の希望を聴きながら職員が付き添い受診しています。主治医との関係を大切にし、適切な医療を受けられるよう支援しています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員が配置されており、ご利用者様の状況の変化や、気付いた事を伝え相談し、状況に応じた支援を受けられるようになっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は、安心して治療が出来るようお見舞いに行き相談対応しています。又病院関係者と情報交換を密に行い早期退院が出来るように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期については、ご本人様、ご家族様と相談し希望があれば対応するよう努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防職員の指導にて、定期的に避難訓練消火訓練に参加しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会、地域住民の皆様にも避難訓練等に参加していただき、災害時に備えた、協力体制も築いています。救命訓練の受講にも参加しています。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の、一人ひとりの人格や尊厳を大切に、優しく丁寧な言葉かけで対応するよう努めています。プライバシーにも配慮した言葉かけをするよう努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が思いや、希望を表出できるような言葉かけや、雰囲気作りに努めています。また自己決定が出来るような支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様自身のペースを尊重、優先し一人ひとりが自由でありのままに生活出来るよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時、入浴時に自己決定ができるよう支援していきます。美容室へ行きたい方は個別に対応しております。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様の嗜好を把握し楽しく食事が出来るよう努力しています。後片づけを出来る方に行って頂いています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の水分量、食事量を記録、把握し習慣に応じた支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後の口腔ケアを行っております。介助が必要な方には職員が補助をしておこなっております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄が出来る様支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防の為運動や水分摂取の声かけを行ったり、下剤などを使用し個々に合った排便コントロールをしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	原則として、月曜日から金曜日までが入浴日ですが、個々の希望、体調に応じて柔軟に対応しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状態に応じて、柔軟に対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が服用している薬の内容を理解できているか確認をしたり、薬の変更が有った場合は記録に残し申し送りを確実にし症状の変化や副作用について注意、確認を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節に合わせたホーム行事や、お誕生会に参加して頂き気分転換をして楽しんで頂いています。また個々に合った役割で力を発揮できるよう支援しています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所を散歩したり、公園で日光浴をしています。又お花見や紅葉狩りにも出かけています。買い物のご希望があれば買い物の外出支援も行っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員が必要に応じて支援しています。ご本人で管理が出来る方もおり、必要な物を買えるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用様が気軽に電話などして頂けるよう声掛けや雰囲気づくりをしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用様が、ゆたかりとして、居心地よく過ごせるように、雰囲気づくりをする工夫を心がけています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由にご自分のペースで過ごせるように、声掛けをして自由にしていただける雰囲気づくりをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用様が、今まで使っていた馴染みの物や写真を置いて頂き自宅の雰囲気でご本人様が安心して過ごして頂ける環境づくりをしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はご利用様が迷う事がなく安全で分かりやすい作りになっています。いつまでも安心して自立した生活が送れるような支援に努めています。		

目標達成計画

事業所名 グループホームおおきな家

作成日：平成 28年 4月 11日

市町村受理日：平成 28年 4月 13日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	26	計画作成時、現状に即したモニタリングが行われていない。	モニタリングシートを利用して、作成する。	モニタリングシートを使用し職員も参加し介護計画を作成する。	1年
2	23	現在、本人の現状に即した意向が、わかる書類がない。	御本人様の意向がわかる書類を整備したい。	御本人様の意向を把握するため、職員と話し合い、書類を整備し、随時変化を記録する。	1年
3	35	避難訓練の際、地域住民の参加協力がえられていない。	地域住民の皆様と一緒に避難訓練をおこないたい。	地域住民の方々に対して、いつもの挨拶の機会を使い、避難訓練の参加について説明をつづける。	1年
4	4	運営推進会議について、会議の議事録が、参加出来なかったご家族様に送付されていない。	運営推進会議の議事録を送付したい。	運営推進会議に参加されていない、ご家族様に会議の内容がわかるよう送付する。	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。